



# 津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



2015～2016

例会日/毎火曜日

例会場/津都ホテル 津市大門7-15

事務所/津市大門10-7

ピッチャーズビル2階

TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/松田 英明

幹事/今西 孝彰

E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp

ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

## 第2434回例会 2016年6月14日(火) 天候 晴

— 6月はロータリー親睦活動月間 —



### 例会予定

- 6月21日(火) 外来卓話  
(株)百五経済研究所  
地域調査部 部長 中畑 裕之様
- 6月28日(火) 年度末夜間例会  
会長・幹事 年度末挨拶
- 7月5日(火) 会長・幹事 新年度挨拶
- 7月12日(火) 奉仕計画発表1

### 進行担当

[三浦副SAA]

国歌斉唱    ロータリーソング    我等の生業

### 来訪者

[松田会長]

ガバナー補佐 飯田 勉様 (久居RC)  
久居 RC 村田 清君 川田 明君  
津北 RC 小野 欽市君

### 出席報告

[千代延委員]

6月14日 出席率 49名中 39名 79.59%  
5月29日 修正出席率 48名中 46名 95.83%

### ニコBOX

[土田委員]

飯田 勉様 (ガバナー補佐) ガバナー補佐として、一年間大変お世話になりました。今後共よろしく御指導の程お願い致します。

小野 欽市君 (津北RC) ありがとうございます。久しぶりにメイクアップでまいりました。

村田 清君 (久居RC) メイクアップにおじゃましました。よろしくお願ひします。

川田 明君 (久居RC) 多分初めて伺いました。松田先輩、一年間お疲れ様でした。また、お話しのご指導をお願いいたします。

松田 英明君 飯田ガバナー補佐、一年間ご苦労様でした。宮崎会員の卓話楽しみに拝聴致します。

### 会長報告

[松田会長]

- ◆ 12日(日)開催の今年度最終南友会に参加の皆様、お疲れ様でした。また、長谷川代表世話人様一年間お疲れ様でした。山口さんお疲れ様でした。
- ◆ 先日、バンクーバーで日本とカナダのラグビーテストマッチがありました。日本は26-22で薄氷の勝利を収めました。昨年のワールドカップイングランド大会で人気が出たラグビーですが、五郎丸がいないので、おなじみのポーズを見ることができず盛り上がりかけりがみえてきました。熱しやすく冷めやすい国民性ですが、引き続きラグビーを応援してほしいと思います。

### 幹事報告

[今西幹事]

★ 6月14日(火)新旧合同理事会開催の件

### 新旧合同理事会報告

- ・津市美術展覧会褒賞金の件
- ・次年度運営委員会の件
- ・刀根大士会員休会の件
- ・森口文生会員退会の件

今西 孝彰君 ガバナー補佐 飯田勉様をお迎えして。宮崎会員の卓話楽しみにしています。

佐々木 喬君 小川会員の元気な姿をお祝いして。宮崎会員の卓話楽しみです。

川喜田 久君 皆様に大変ご心配をおかけしましたが無事に結石が割れて落ちました。スッキリしました。

大川 吉崇君

- ・刀根大士様には、みえ食文化研究会総会での特別講演をお願いし、有難うございました。
- ・宮崎吉史様の卓話を楽しみにさせていただきます。

R.I. テーマ ロータリー2016: Be a gift to the world 世界へのプレゼントになろう  
本年度テーマ “ありがとう50年、そして新時代”

村木 正二君 宮崎さん本日の卓話御苦労様です。/  
 刀根 大士君 宮崎会員の卓話楽しみに拝聴致します。  
 栗田 明君 川喜田さん、早期復帰おめでとうございます!!  
 日比 隆幸君 過日はかさねがさねのご利用ありがとうございました。益々の津南RCのご発展をお祈りしております。  
 (はま作女将・従業員一同より)  
 今野信太郎君 先日、南友会では竹内会員・澤田会員・阿部会員には大変お世話になりました。澤田会員にはおまけを頂きました。ありがとうございます。  
 宮崎 吉史君 本日卓話をさせていただきます。先輩諸兄の前でお話しするのは緊張します。何卒宜しくお願い致します。  
 竹内 敏明君 南友会で優勝をさせて頂きました。ありがとうございました。楽しい1日でした。

飯田ガバナー補佐(久居RC)をお迎えして、/  
 伊藤孝行君、山口満也君、佐々木喬君、吹戸研一君  
 伊藤 仁君、竹内敏明君、奥田邦雄君、山本哲也君  
 今野信太郎君、澤田勝志君、内田祐仁君  
 宮崎吉史会員の卓話楽しみにしています。/  
 吉村哲夫君、山口満也君、千原一典君、萩原 大君  
 何川 高君、吹戸研一君、小川恭平君、伊藤 仁君  
 阿部祐司君、竹内敏明君、旭 晋君、中尾哲也君  
 後藤修一君、飯田 聡君、土田研輔君、奥田邦雄君  
 澤田勝志君、小泉智英君、三浦敏秀君、家田吉成君  
 栗田 明君、林 裕行君、日南田隆司君  
 長谷川顕一君

### 南友会ゴルフコンペ

6月12日(日) 於: 青山高原カントリークラブ

1位	竹内 敏明	9位	川本 豊
2位	岡部 宏司	10位	後藤 修一
3位	林 裕行	11位	今野信太郎
4位	刀根 大士	12位	三浦 敏秀
5位	阿部 祐司	13位	長谷川顕一
6位	澤田 勝志	14位	今西 孝彰
7位	日南田隆司	15位	松田 英明
8位	千原 一典		

## ガバナー補佐最終訪問卓話

中勢・伊賀グループガバナー補佐  
 飯田 勉 様



津南ロータリークラブの皆様、ガバナー補佐として一年間本当にお世話になりました。貴クラブの皆様はこれまでさまざまな時代の変化に対応され、メンバー各位が幾多の困難に直面され、多くの貴重な経験を積み重ねられながらも、人生道場における鍛錬に邁進され、それらの結晶として、今日のクラブの伝統を築いてこられたものと思います。これまで地域社会の発展に寄与された実績とその高い評価は、近隣クラブの誇りとして賞賛されるべきものであり、ロータリアンとして誇りを持っていただきたいと思えます。

今年度、K. R. “ラビ” ラビンドランRI会長は、「Be a gift to the world」～世界のプレゼントになろう～、そして岡田信春地区ガバナーは、「過去、現在・今、行動するロータリアン」～会長賞に挑戦しよう～をテーマに掲げられました。私たちロータリアンの基本は、ロータリーの金看板である活気ある職業奉仕のもと、寄付を推進し、国際的な人道支援事業に参加・推進すること、そしてその成果に誇りを持つことです。さらに、青少年(インターアクト、ローターアクト等)へ貢献し、未来社会の活性化を願うことにつきます。

人道支援奉仕は、現在の国際社会を考えれば、国・地域によって優先テーマとなるはずで、インターアクト・ローターアクト活動、地域の青少年への貢献こそ、未来に希望を託す意味でも最先端のテーマとなります。

一方で、私たちロータリアンの責務は、「ロータリー実践にあたり、みんなを幸せにしようと思う強い信念と豊かな心配りで活動に魂を入れる・内容をより充実させる」ことが、今後の大きな課題となるものと思えます。

私たちロータリアンは、自分の職業活動を通じて、地域社会の中でいかに人様のお役に立てるかが重要でありそのことを念頭に日々鍛錬を重ねております。職業を通じて社会に奉仕できる機会に感謝するとともに、夢とプライドを持ち、経営に誠心誠意最善の努力を払っていく必要があります。顧客満足を第一に考え、職場に向かっては、従業員の家族の幸せを願い、競争者、協力者に対しては、共存共栄を意識しての業界発展・品位向上に努めます。これらのことは、ロータリアン同志でも重要なことです。ロータリアン全ての方々が、ここのところを、より深く理解し、肝に命じて、健康第一で実践を重ねることができれば、ロータリーの未来は素晴らしいものと確信いたします。

今日まで、築き上げられてこられた歴史・伝統を大切にしながら、貴クラブが、益々発展されることを心からご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

## 伊勢神宮について

宮崎 吉史 会員

皆様こんにちは。本日は伊勢神宮についてお時間を頂戴してお話させて頂きたいと思っております。

まず本題に入る前に私の経歴につきまして少しお話をさせて戴きます。現在私は結城神社の宮司代務者を務めております。津南RCの方はご存知かと思いますが、祖父、父と続き結城神社に奉仕させて戴いております。

私については、津の町で生まれ育ったと思われる方が多いとおもいますが、実はそうではなく、父親が愛知県の尾張大國霊神社・通称、国府宮神社に奉職しておりましたので生まれも育ちも愛知県であります。愛知県で育ち、高校卒業後神職の資格を取得するために東京の國學院大學に通うと同時に東京の神社へ奉職致しました。東京の日枝神社という神社で約10年お勤めし、30歳を過ぎた時に父親から声がかかり、結城神社で父親と一緒に御奉仕することとなりました。以来約10年結城神社で奉仕しており、父親が平成26年大晦日に逝去して以来結城神社宮司代務者としてお社をお預かりしております。

皆様にとって神職の仕事というものはかなり謎が多いと思いますが、神職の仕事はまず第一に神社で行うお祭りの奉仕でございます。お祭りと言っても、一般的なお祭りのイメージである祭り囃子や出店で賑わうお祭りではなく、只々神様に皆様の日々の安寧と安泰をご祈願する、神職のみで御奉仕するものが大半です。あとは境内とお社の清掃作業、その他では地鎮祭などの出向祭典の御奉仕などもあります。本来はこの様にひたすらに神社でお勤めするのでありますが、現在私は様々なご縁で役職を頂戴しており、神社を空ける事が多く反省しておる次第でございます。

閑話休題、伊勢神宮についてでございます。日本人の心のふるさととして、いつの世にも広く国民から崇敬を集めている「伊勢神宮」。20歳以上で96%の方が知っているというデータもあり、日本人のほとんどが伊勢神宮をご存じだといえます。しかし、「伊勢神宮ってどんな神様が祀(まつ)られているの?」「伊勢神宮って何県にあるの?」と聞かれたとき、答えられない人も多のも事実です。ここにいる皆様には言うまでもなく伊勢神宮は三重県伊勢市にございます。三重県内ではともかく全国的には、名古屋の近く?愛知県?と言う方もいらっしゃいます。非常に残念でございますが、神職はもとより皆様のお力で少しでも所在地の知名度を上げていきたい所存であります。

では、伊勢神宮についてご紹介していきましょう。皇室の御祖先・天照大御神様という神様がおよそ2000年前よりお祀りされています。1300年もの伝統を誇る20年に1度の我が国最大の祭典「式年遷宮」が永々と続いていることなど、全国の数ある神社の中で重要な神社として歩み続けてきました。そして、伊勢神宮でお祀りしている神様の中心は天照大御神です。日本には八百万(やおよろず)の神様がいらっしゃいます。八百万とは数限りなく多いという意味ですが、その数限りなくいらっしゃる神々の中で中心的な最も尊い存在とされています。

皆様は日本がいつ建国されたかご存じでしょうか。紀元前660年の2月11日です。この日は初代の天皇である神武天皇(じんむてんのう)が即位した日にあたります。つまり西暦に660年を足したものが日本国の歴史ということになります。これを「皇紀」(こうき)といいます。

例えば、平成28年は西暦2016年ですので皇紀2676年といい換えることが出来ます。日本の国は、神武天皇から今上天皇(きんじょうてんのう)(現在の天皇陛下)まで、125代にわたり御一筋(おひとすじ)の系統によって統治されています。これを「万世一系」(ばんせいいつけい)といい、1つの君主の系統が、約2700年もの長い歴史にわたって続いている国は世界に例を見ません。このことと、伊勢神宮が尊いお宮であるということは深い関係があるのです。天照大御神は初代神武天皇の5代前の祖神(おやがみ)です。つまり天照大御神の子孫が神武天皇であり、神武天皇から125代目になられますのが今上天皇です。よって、天照大御神は日本の歴史とともに、また皇室の祖神として大切にお祀りされてきました。

ここまで日本と伊勢神宮についてみてきましたが、ここからは伊勢神宮はいつできたのかなど、伊勢神宮について詳しく見ていきましょう。まずご創建ですが、伊勢神宮が現在の場所にお祀りされたのは、垂仁天皇(すいにんてんのう)26年。西暦で言うと紀元前4年、今から2000年以上も昔になります。その始まりは、天照大御神が御自身の子孫、天津彦彦火瓊瓊杵尊(あまつひこひこほのくにのみこと)に日本の国の統治を命じる際三種の神器のひとつ「八咫鏡」(やたのかかみ)を授け「この鏡を私自身とってお祀りしなさい」とおっしゃったことによります。初代神武天皇から第10代崇神天皇(すじんてんのう)の代までは、この八咫鏡は皇居でお祀りされてきましたが、第11代垂仁天皇(すいにんてんのう)の時代に、皇女(こうじょ)(天皇の娘)・倭姫命(やまとひめのみこと)が、より良い場所を求めた所、現在の伊勢の地、五十鈴川の川上にお遷(うつ)しされました。当時から自然豊かで、本当にいい場所であったのでしょう。

さて皆さんは伊勢神宮を何と呼んでいますか。「お伊勢さん」や「伊勢神宮」と呼んでいらっしゃる方が多いのではないのでしょうか。実は正式には伊勢神宮という神社はありません。伊勢を付けずに、「神宮」というのが正式な名称です。また更に詳しくいうと、伊勢神宮は天照大御神をお祀りする「皇大神宮」(こうたいじんぐう)「内宮」(ないくう)と、豊受大御神(とようけのおおみかみ)をお祀りする「豊受大神宮」(とようけだいじんぐう)「外宮」(げくう)の両宮(りょうぐう)を中心として、数々のお宮・お社から成り立っています。

次に、伊勢神宮で行われる祭典や行事について見ていきましょう。伊勢神宮では、1年を通じて様々なお祭りが執り行われますその数は年間1500以上です。この全ての祭典が古式に則(のっと)り厳粛に執り行われています。その祭典は、ご鎮座以来一貫して、天皇陛下の御意志によって天照大御神をお祀りされるということに大きな特徴があります。

伊勢神宮を参拝しておりますと、多くの神主さんが御奉仕されているのがお分かりいただけると思います。さて、およそ何人くらいの方が御奉仕されていると思いますか。正解は約100人です。また神主だけでなく、その他にも様々な職種の方が日々ご奉仕しております。神主は年間を通じて行われる祭典をご奉仕することが一番大切な職務であり、それぞれの立場に応じて様々な形でお仕えています。役職としましては、「祭主(さいしゅ)」「大宮司(だいぐうじ)」「少宮司(しょうぐうじ)」「禰宜(ねぎ)」「権禰宜(ごんねぎ)」「宮掌(くじょう)」「出仕(しゅっし)」があります。祭主は現在池田厚子様がお勤めで、今上天皇のお姉様です。大宮司は現在鷹司尚武様がお勤めで、日本電気通信システム社長を務めた方であり、義理の叔父が今上天皇です。

以上、神宮について本当に簡単にはございますが説明とさせて頂き戴きます。御清聴有難うございました。